

【令和5年度 京都市立下鴨中学校 学校経営構想】

1 学校教育目標

「自ら考え、自ら律し、共に行動できる生徒の育成」

2 目指す生徒像・教職員像・学校像

〔目指す生徒像〕

- ・知識を正しく習得し、多角的に物事を考え、自分の意見を発信できる生徒
- ・正しく判断し行動できる生徒
- ・自他を大切にし、共に成長し、夢に向かって邁進できる生徒

〔目指す教職員像〕

- ・生徒理解に努め、生徒に寄り添い、信頼される教職員
- ・チームとして協働し、互いに学びあい、向上心あふれる教職員
- ・生徒があこがれる大人像となる教職員

〔目指す学校像〕

- ・生徒が「通いたい」、保護者が「通わせたい」と思う、学びのある学校
- ・生徒・保護者の願いが実現できる学校
- ・生徒・保護者・地域に信頼され、愛される学校

3 学校経営方針

「教育目標」「目指す生徒像」「目指す教職員像」「目指す学校像」を達成するために

- ・教職員の意識改革を図り、働き方改革を踏まえた組織的な学校運営を行う。
- ・生徒が夢や目標に向かって、自ら切り拓く能力をひきだす学校づくりを行う。
- ・授業改善に取り組み、そのための研究を日々行う。
- ・生徒の実態や意識・保護者の願いを把握し、学校評価の結果を基に学校運営の検証と改善を行う。
- ・義務教育9年間の一貫した豊かな学びと育ちを支える指導の充実を図るため、小中連携主任を核として校区内3小学校と連携を行う。
- ・学校運営協議会を核として、外部人材を活用し、開かれた学校づくりを行う。

4 本年度の重点目標

1. 教育目標を達成するために、教職員一人一人が常に研究・改善に努め、スキルの向上を行う。
2. GIGAスクール構想を活用し、各教科・領域において言語活動を取り入れ、「主体的・対話的で深い学び」を実現する。そのため、ICT活用に積極的に取り組む。
3. 生徒を取り巻く学習環境を的確にとらえ、適切な学習課題を提供し、その活用を踏まえた授業改善を行う。
4. 各種調査の結果や学校評価等により生徒の変容を確認し、本校の教育課題を明確にする。その上で、さまざまな指導を研究し、質の高い学びの提供を行う。

5. キャリア教育を軸として、系統的な総合的な学習の時間を実施し、生徒が自分の夢や目標を持ち、未来を切り拓く進路指導を行う。
6. 命を大切にし、他者を大切にし、自身も大切にされているという実感が持てる心や態度を育てる道徳教育や人権教育の充実を図る。
7. 不登校生徒や困りを抱えた生徒に対して積極的な支援を行う。
8. 生徒の自主的な活動や自己実現を促進するために、生徒会活動の活性化を進める。
9. 生徒を支え、寄り添う姿勢で、生徒指導体制や取組の強化・充実を図り、生徒の自律力や協働する力・自己有為性を高める。
10. コロナ禍における新しい教育活動への発想転換とその実現を行う。